

# 第 31 回『なかま』実践研究集会について

平素は、人権教育の推進並びに本会発展のためご尽力を賜り深謝申し上げます。

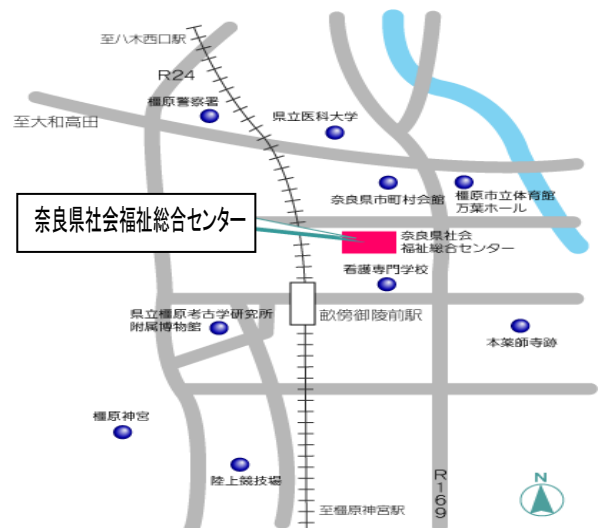
1960年に発刊された『なかま』は、子どもや地域のくらしに根ざした題材の教材化を進め、同和教育を「事実を通して正しい部落問題認識を培い豊かな人権感覚をはぐくむ教育」へと発展させる力となってきました。2002年には人権教育テキストとして全面改定され、『なかま』は、多くの学校・園・所において様々な授業実践が展開されています。また、県教育委員会からは「なかまとともに小学校1」が2012年度に、「なかまとともに小学校2」が2013年度に、「なかまとともに中学校」が2014年度に、そして「なかまとともに高等学校」が2015年度に発行され、『なかま』とあわせて活用されています。1988年に第1回が開催された本研究集会では、そのような『なかま』教材等を用いた取組を中心に、各校で開発された教材等を活用した授業や人権を基盤に据えた総合学習の展開についての実践交流を進めてきました。

本年も、『なかま』等の教材を活用した授業の報告など、第31回『なかま』実践研究集会として、下記の要領にて開催いたします。

つきましては、公務ご多忙の折りとは存じますが、趣旨をご理解のうえ、多くの会員の派遣及び出張方、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 記

1. 主催 奈良県人権教育研究会
2. 期 日 2018年2月9日（金）
3. 会 場 奈良県社会福祉総合センター  
 橿原市大久保町 320-11  
 (近鉄畷傍御陵前駅 東出口から北東へ250m)  
 全体会：5F 研修室 B/C  
 分科会：5F 研修室 B/C・6F 中会議室  
 \* 駐車場はありません。公共の交通機関でお越しいただくか、有料駐車場をご利用ください。



## 4. 研究テーマ

すべての子どもたちに、人権についての認識を深め、部落差別をはじめさまざまな人権の問題を正しく理解・認識させるために、『なかま』を中心とする教材等をどのように位置づけ実践してきたか。

## 5. 日 程

受付	全 体 会			移動	分 科 会		
	挨拶 趣旨 説明	講演	人権教育を基盤とした『特別の教科 道徳』授業の試み				
		講師	大阪成蹊大学 園田雅春さん				
13:00	13:30	13:40		14:50	15:00		16:30

## 6. 参加費 1,000円（資料代）

7. 参加申込 参加を希望される方は、参加申込書にて各郡市人教事務局まで、1月 日までに申し込んでください。郡市人教ごとの集約は、別紙にて奈人教事務局まで、1月19日（金）までに報告をお願いします。

8. 全体会 講演 人権教育を基盤とした『特別の教科 道徳』授業の試み

講師 園田雅春さん（大阪成蹊大学）

道徳が「教科化」され、授業がいよいよ愉しくなる。いや、是非そうしたいものだ。

「人権の視点」で検定教科書を読んでいくと、子どもが「考え、議論（対話）」したくなるどころが沢山ある。子どもAはきっとこんなツツ込みを入れるはず。子どもBは自分のくらしと重ねて、こんなことを語ってくれるに違いない。そう思うだけでワクワクする。

「多面的・多角的に」深く考え合う授業づくり。その具体的な提案をしたいと思います。

9. 分科会

①「ちがいを認め「豊かさ」ととらえられる集団を育む取組から

広陵町立広陵東小学校 辰巳 展崇さん

本校に在籍する性別違和感のある児童への理解と「多様な性」としての“性的マイノリティ”の課題に焦点をおき、全校で「なかまとともに」をはじめとする様々な教材を使用しながらLGBTQの学習を行い、性別に対する固定的な見方や考え方が人権を侵害していることの理解を進めてきた。この研究集会では、“じぶんらしさ”や“その人らしさ”“に気づき、一人一人が違って当たり前ということを実感し、「ちがいを互いに認め合い「豊かさ」としてとらえられるように、学級や学校全体で取り組んだ実践について報告する。

②いのちをいただく ～みいちゃんがお肉になる日～

天理市立樺本小学校 田名後 潤さん

私は、教育の負の産物です。なぜなら、未だかつて「部落問題」の学習を一度も学習したことがないからです。いや、記憶に残っていないだけかも知れませんが、今回、この教材に取り組んで、行き詰まったのは自分自身の「部落問題不認識」でした。2年生では「牛の解体」について取り上げ「いのちをいただく」の教材を中心とし、と場で働く人々への差別が、未だに残っていることについて考えていきました。私のような人間にしてはいけないという一心で、と場の仕事を正しく伝えることに重点をおいた取り組みです。

③子どもに届けたい部落問題学習

奈良県人権教育研究会 資料編集部会 小谷 文佳さん・徳永 和城さん・田中 美也子さん・松崎 晶子さん

昨年度は、『なかまとともに』を活用した部落問題学習の入口として、「きみの家にも牛がいる」の授業案を紹介しました。今年度は、導入から、さらにすすめていくために部落問題学習の考え方と『なかまとともに』そして『なかま』の教材を使った様々な学年での授業の展開を紹介し、子どもに届く部落問題学習を考え合います。ぜひ、参加者との実践交流によって練り上げていきたいと思っておりますので、うまくいったこと・失敗・悩みなど持ち寄りましょう。

第31回『なかま』実践研究集会 参加申込書

所属

校・園・所

No.	分科会 番号	名 前	No.	分科会 番号	名 前
1			3		
2			4		

各郡市人教事務局まで、1月 日までに申し込んでください